令和2年度事務事業実績評価表 1 事業概要 リニア推進課 事業No. 課名 33 -般会計 会計 継続 事務事業名 交通体系整備事業 事業区分 政策 実施区分 H10 開始 終了 主要区分 主 記号 計画等名称 リニア時代を支える都市基盤を整備する 12 戦略計画 根 拠 分野別計画 道路運送法 法令・例規等 道路交通法 地域公共交通活性化再生法 対象 市民 事業目的 意図 市民の地域公共交通利用

<u>-</u>												
<u>`</u>			経費の内容					事業費(千円)				
											126,200	
											3,125	
											4.050	
なバス利用者の確保に取り組みました。											152	
乗合タ	クシー山本西	部山麓線の本格運	4 🖂).							282		
ら開始し	、EVバスの	実証運行を令和3	コッジコ						44,680			
循環線において開始しました。											77,000	
・新たなモビリティ検討チーム勉強会を3回開催し、自動運												
転とMaaSの研究に取り組みました。												
			バス利									
用者の過	密対策として	増便を行いました	-	その他の経費						0		
								今和元年度		令和2年度		
指	標名 (数値で	単位				実績		実績		実績		
運行支援する市民バス路線数 路線 路線					9	9	9	9	9	9	9	
運行支援	する乗合タク	シー路線数	路線	14	14	13	13	14	14	14	14	
地域公共	交通改善市民	会議開催数		2	2	2	3	2	2	2	2	
実証運行	路線数		路線	1	1	0	0	1	1	0	0	
バスの年	間延べ利用者	数	人		364,715		368,859		354,394		269,559	
乗合タク:	シーの年間延べれ) 人		22,110		20,782		19,317		15,193		
				特定財源内訳及び補足事項								
7747 1101												
財源の 状況		- ,	0.1,000									
		0	(そ)交通事業者感染防止対策支援事業町村負担金 14,923千円									
		,										
		-,-	20,012									
	一般財源	81,882										
	合びな・ら循・転・用 運運地実パ乗 財射タ公バ乗開環新と交者 行行域証ス合 フラス和タしにな A 専選 指 接接共行年 のの	・飯田市地域公共交通 合タクシーの年間延べ 東の年間源の は、一次のは、一次のは、一次のは、一次のは、一次のは、一次のは、一次のは、一次の	取組内容 ・飯田市地域公共交通改善市民会議を 2 合タクシーの運行や利用促進について協び公共交通の日 (バス運賃割引) を 9 日なバス利用者の確保に取り組みました。・乗合タクシー山本西部山麓線の本格運ら開始し、EVバスの実証運行を令和 3 循環線において開始しました。・新たなモビリティ検討チーム勉強会を転とMaaSの研究に取り組みました。・交通事業者へのコロナ感染防止対策支用者の過密対策として増便を行いました 指標名 (数値で表せる活動量) 運行支援する市民バス路線数 運行支援する市民バス路線数 運行支援する市民バス路線数 運行支援する再民バス路線数 運行支援する再民が入路線数 運行支援する再民が入路線数 地域公共交通改善市民会議開催数 実証運行路線数 バスの年間延べ利用者数 乗合タクシーの年間延べ利用者数(実証含む 予算額 207,592 決算額 178,489 国庫支出金 31,535 県支出金 0 地方債 36,000 その他 29,072	 取組内容 ・飯田市地域公共交通改善市民会議を2回開催し、バラタクシーの運行や利用促進について協議し、乗り方が公共交通の日(バス運賃割引)を9日間実施する等、なバス利用者の確保に取り組みました。 ・乗合タクシー山本西部山麓線の本格運行を令和2年ら開始し、EVバスの実証運行を令和3年1月より市団循環線において開始しました。 ・新たなモビリティ検討チーム勉強会を3回開催し、巨転とMaaSの研究に取り組みました。 ・交通事業者へのコロナ感染防止対策支援および路線が用者の過密対策として増便を行いました。 ・交通事業者へのコロナ感染防止対策支援および路線が用者の過密対策として増便を行いました。 ・ 接続を (数値で表せる活動量) 単位 運行支援する市民バス路線数 路線 運行支援する乗合タクシー路線数 路線 運行支援する乗合タクシー路線数 路線 運行支援する乗合タクシー路線数 路線 運行支援する再民バス路線数 路線 運行支援する市民バス路線数 路線 運行支援する市民バス路線数 路線 運行支援する再合タクシー路線数 内 重直支援する乗台タクシー路線数 日 連位 運行支援する再合タクシー路線数 日 連位 運行支援する再合タクシー路線数 日 連位 運行支援する再合タクシー路線数 日 連位 運行支援する事業日 (本) 過域対策長式の他 ・大の他 ・大の他	 取組内容 ・飯田市地域公共交通改善市民会議を2回開催し、バス・乗合タクシーの運行や利用促進について協議し、乗り方教室及び公共交通の日(バス運賃割引)を9日間実施する等、新たなバス利用者の確保に取り組みました。・乗合タクシー山本西部山麓線の本格運行を令和2年4月から開始し、EVバスの実証運行を令和3年1月より市民バス循環線において開始しました。・新たなモビリティ検討チーム勉強会を3回開催し、自動運転とMaaSの研究に取り組みました。・交通事業者へのコロナ感染防止対策支援および路線バス利用者の過密対策として増便を行いました。 ・ 指標名(数値で表せる活動量) 単位 平成2計画 運行支援する市民バス路線数 路線 9 運行支援する乗合タクシー路線数 路線 14 地域公共交通改善市民会議開催数 回 2 実証運行路線数 路線 1 バスの年間延べ利用者数	・飯田市地域公共交通改善市民会議を2回開催し、バス・乗合タクシーの運行や利用促進について協議し、乗り方教室及び公共交通の日(バス運賃割引)を9日間実施する等、新たなバス利用者の確保に取り組みました。・乗合タクシー山本西部山麓線の本格運行を令和2年4月から開始し、EVバスの実証運行を令和3年1月より市民バス循環線において開始しました。・新たなモビリティ検討チーム勉強会を3回開催し、自動運転とMaaSの研究に取り組みました。・交通事業者へのコロナ感染防止対策支援および路線バス利用者の過密対策として増便を行いました。 「お標名 (数値で表せる活動量) 単位 平成29年度計画 実績運行支援する市民バス路線数 路線 9 9 運行支援する乗合タクシー路線数 路線 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14	・飯田市地域公共交通改善市民会議を2回開催し、バス・乗合タクシーの運行や利用促進について協議し、乗り方教室及び公共交通の日(バス運賃割引)を9日間実施する等、新たなバス利用者の確保に取り組みました。・乗合タクシー山本西部山麓線の本格運行を令和2年4月から開始し、EVバスの実証運行を令和3年1月より市民バス循環線において開始しました。・・ がたなモビリティ検討チーム勉強会を3回開催し、自動運転とMaaSの研究に取り組みました。・・ 交通事業者へのコロナ感染防止対策支援および路線バス利用者の過密対策として増便を行いました。 指標名(数値で表せる活動量) 単位 平成29年度 平成3 計画 実績 計画 アルスの連行で発達する乗合タクシー路線数 路線 14 14 13 14 13 14 14 13 15 14 14 13 14 14 13 15 16 16 17 18 18 18 18 18 18 19 10 11 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	・飯田市地域公共交通改善市民会議を2回開催し、バス・乗合タクシーの運行や利用促進について協議し、乗り方教室及び公共交通の日(バス運賃割引)を9日間実施する等、新たなス利用者の確保に取り組みました。・乗合タクシー山本西部山麓線の本格運行を令和2年4月から開始し、EVバスの実証運行を令和3年1月より市民バス循環線において開始しました。・新たなモビリティ検討チーム勉強会を3回開催し、自動運転とMaaSの研究に取り組みました。・交通事業者へのコロナ感染防止対策支援および路線バス利用者の過密対策として増便を行いました。・交通事業者へのコロナ感染防止対策支援および路線バス利用者の過密対策として増便を行いました。 指標名(数値で表せる活動量) 単位 平成29年度 平成30年度計画 実績計画 実績 計画 実施 計画 実施 計画 実施 計画 対面	・飯田市地域公共交通改善市民会議を2回開催し、バス・乗合タクシーの運行や利用促進について協議し、乗り方教室及なバス利用者の確保に取り組みました。 ・乗合タクシー山本西部山麓線の本格運行を令和2年4月から開始し、EVバスの実証運行を令和3年1月より市民バス循環線において開始しました。 ・新たなモビリティ検討・エンの地強会を3回開催し、自動運転とMaaSの研究に取り組みました。 ・新たなモビリティ検討・エンの地強会を3回開催し、自動運転とMaaSの研究に取り組みました。 ・交通事業者へのコロナ感染防止対策支援および路線バス利用者の過密対策として増便を行いました。 ・技通事業者へのコロナ感染防止対策支援および路線バス利用者の過密対策として増便を行いました。 ・技術名(数値で表せる活動量) 単位 平成29年度 平成30年度 令和5年度 計画 実績 計画 まり は 14 14 13 13 14 14 14 13 13 14 14 14 13 13 14 14 14 13 13 14 14 14 13 13 14 14 14 13 13 14 14 14 13 13 14 14 14 13 13 14 14 14 13 13 14 14 14 13 13 14 14 15 13 14 15 15 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16	・飯田市地域公共交通改善市民会議を 2 回開催し、バス・乗合タクシーの運行や利用促進について協議し、乗り方教室及び公共交通の音・民会議負担金 地域公共交通改善市民会議負担金 地域公共交通改善市民会議負担金 がたなビリティの研究 地域公共交通改善市民会議委員報酬ほから開始し、EVバスの実証運行を令和 3 年 1 月より市民バス 6 乗終において開始しました。 ・交通事業者ののコロナ感染防止対策支援および路線バス利用者の過密対策として増便を行いました。 ・交通事業者へのコロナ感染防止対策支援および路線がス利用者の過密対策として増便を行いました。 ・交通事業者へのコロナ感染防止対策支援および路線がス利用者の過密対策として増便を行いました。 ・を対事業者へのコロナ感染防止対策支援および路線がス利用者の過密対策として増便を行いました。 ・での他の経費 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・飯田市地域公共交通改善市民会議を2回開催し、バス・乗合タクシーの運行や利用促進について協議し、乗り方教室及び公共交通の目(バス運賃割引)を9日間実施する等、新たなバス利用者の確保に取り組みました。・乗合タクシー山本西部山麓線の本格運行を令和2年4月から開始し、EVバスの実証運行を令和3年1月より市民バス 橋環線にかて開始しました。・新たなモビリティ検討チーム勉強会を3回開催し、自動運転とめる3回開催し、自動運転とので、受通事業者のコロナ感染防止対策支援事業交付金 「おりかけでは、おりかけでは、おりがでは、まりがでは、おりがでは、まりがでは	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	田	大事業	中事業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	9	15	1	207,592	178,489	市民バス等運行業務費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識 ・利用者数は285,275人で、前年度比23.6%・年間延べ88,244人減少しました。(バス利用者:前年度比23.8%・年間延べ84,312人減少、乗合タクシー利用者:前年度比19.0%・年間延べ3,932人減少)新型コロナウイルス感染症が影響しました。									
上記の課題解決 ・利用者の意見を聞きながら、ダイヤ及び停留所を検討する等して、利用者にとって使いやすい公共交通を提供します。 ・乗り方教室や公共交通の日(バス運賃割引)実施により、公共交通のPRを行い、新たな利用者の掘り起しを行います。									
	次年度に向けての取り組み・地域公共交通改善市民会議及び部会において、利用しやすい公共交通について協議を行います。・リニア時代を見据えた、二次交通の在り方について検討を進めます。・EVバスの実証運行を継続して実施します。								